

令和7年度使用中学校用教科用図書（「教科名 技術・家庭 技術分野」）の採択結果等について

広島大学附属三原中学校

種目	発行者	採択理由
技術・家庭 技術分野	東京書籍	<p>○基礎・基本の定着に関わって</p> <p>基礎的・基本的な知識及び技能の「ポイント」を明記し、問題解決に取り組むときに必要となる基礎的な技能を「テックラボ」で確認することができる。また、キャラクターの吹き出しとして、発問の例や学習のポイントとなる記述があることから、疑問等を着実に踏まえながら、学習を進めることができる。</p> <p>○主体的に学習に取り組む工夫に関わって</p> <p>問題解決の題材例が、具体的かつ現実的に提示されていること、「問題発見」や「課題設定」の具体例が豊富であることから、例を参考にしながら、自発的に生徒が問題解決に挑める工夫がされている。また、「技術分野の学習を終えて」において、社会の中で技術に携わる人へのインタビュー等が掲載されており、社会との関わりを見据えて、技術を振り返ることができる。</p> <p>○内容の構成・配列に関わって</p> <p>内容A～Dまでの4分野が満遍なく構成されており、知識・技能の習得から問題解決、社会への発展といった段階的な配列となっている。また、SDGsやSociety5.0、STEAM教育など、現代的な内容についても取り扱っており、社会の流れとともに技術を考えることができる。</p> <p>○内容の表現・表記に関わって</p> <p>各分野で、デジタルコンテンツとして、思考ツールやシミュレーション、動画等にリンクでき、教科書を超えて、教材の内容を理解することのできる工夫がある。</p> <p>○言語活動の充実に関わって</p> <p>技術の概念の理解を促すために、「技術の最適化」という項目があり、これまでの学習を振り返り、自分の問題解決と社会における問題解決の共通点と違いについて考えることができる。</p> <p>○本校の研究に関わって</p> <p>各分野において、先進的な技術や注目されている技術が取り扱われており、先導的な研究を進める本校に適しているといえる。</p>